

**TOBIUO JAPAN** センターホールに日の丸を。

うれしいに決まっています。



鈴木大地  
1988年 ソウルオリンピック  
100m背泳ぎ 金メダリスト

# JAPAN SWIM 2014 4.10(THU)▶13(SUN)

第90回 日本選手権水泳競技大会 競泳競技 会場：東京辰巳国際水泳場

兼 第12回パンパシフィック大会 代表選手選考会 兼 第17回アジア大会 代表選手選考会

主催：公益財団法人日本水泳連盟 / 主管：公益財団法人東京都水泳協会 / 後援：東京都、一般財団法人上月財団



DAIYA SETO SHINRI SHIOURA  
MIKI UCHIDA KOSUKE HAGINO

## リオデジャネイロ五輪に向けた執念の中間年 JAPAN SWIM 2014

第90回日本選手権水泳競技大会 競泳競技

兼 第12回パンパシフィック大会代表選手選考会 兼 第17回アジア大会代表選手選考会

スペイン・バルセロナ世界水泳選手権では、メダルを6個獲得。

スローガンであった「センターホールに日の丸を」も達成し、勢いに乗る日本代表チーム。

今年はベテランにとっても、新勢力にとっても非常に重要な1年となる五輪中間年。

パンパシフィック大会とアジア大会の代表権を得て、世界に羽ばたくための戦いが始まる。

文：スポーツライター・田坂友晴

### 新勢力の台頭に期待がかかる中間年

戦後最多となるメダル数に沸いたロンドン五輪から、早2年。昨年はリオデジャネイロ五輪に向けた第一歩として行われた第15回世界水泳選手権で、金メダルを含む6個のメダルを獲得して好スタートを切った。日本が誇るマルチスイマー萩野公介（東洋大）に加え、金メダリストとなった萩野のライバル瀬戸大也（JSS 毛呂山）と、今年20歳を迎える若手

が力をつけていることは非常に心強い。

反対に、リオデジャネイロ五輪に向けた不安材料が出てきてしまったのも昨年のトピックだった。ロンドン五輪に続き、世界水泳選手権でもメダルを獲得した背泳ぎの寺川綾と、メドレーリレーで大活躍だったバタフライの加藤ゆか、自由形の山上春佳の引退である。男子に比べて世界との差が広がっている女子において、メダル争いができる活躍を見せてきた平井伯昌門下生の3人の引退は、大きな衝撃を与えた。

萩野、瀬戸に続く若手が現れるのか、そし

てメダリストの女子3人の穴を誰が埋めるのかに注目が集まる「JAPAN SWIM2014」第90回日本選手権水泳競技大会が、4月10日（木）～13日（日）に東京辰巳国際水泳場で開催される。男女ともに17種目の予選決勝が行われ、環太平洋諸国で争われる第12回パンパシフィック大会（8月 オーストラリア）と、アジアスポーツの祭典、第17回アジア大会（9月・韓国）の代表選手選考を兼ねる。パンパシフィック大会ではアメリカやオーストラリアに加え、ブラジルなどの強豪国が参加し、ア



TAKESHI MATSUDA  
MIO MOTEGI



## センターポールに日の

ジア大会には手強いライバルも多い中国勢が  
気合いを入れて挑んでくる。

今年は世界大会がない五輪の中間年となる  
が、新勢力の選手たちにとっては非常に重要  
な1年といえよう。その理由は、バンパシフィック  
大会だ。この大会は、基本的に1国2名  
しか出場できない世界大会とは違い、予選は  
1国何名でも出場が可能(決勝は1国2名)。  
そのため、代表メンバーの人数も多めに設定し  
ており(男女ともに26人を上限)、派遣選考  
基準さえ満たせば3位でも代表入りの可能性  
が見えてくるのである。リオデジャネイロ五輪、  
さらには東京五輪を担うであろう若手には、こ  
のチャンスをものにしてもらいたいところだ。

### 自由形強化が実を結び始める 短距離の記録に期待

注目が集まるのは、もちろん萩野、瀬戸の  
対決。タイム的には萩野のほうが一枚上手だ  
が、こころの勝負強さが瀬戸にはある。

200m、400m個人メドレーに加えて、4×  
200mリレーの代表権がかかった200m自由  
形での勝負も見応えがありそう。さらに瀬戸は  
バタフライの挑戦も視野に入れており、背泳ぎ  
が得意な萩野と揃って複数種目での出場が濃厚。  
日本選手権では、全種目で萩野と瀬戸の  
名前が会場に響き渡りそうな予感だ。

彼らだけでなく、今年は自由形短距離にも  
注目してもらいたい。男子は世界水泳選手権  
の50mで日本新記録を樹立し、100mでも  
夢の決勝進出まであと少しに迫った塩浦慎理  
が見えてくるのである。今年こそ高速水着時代に  
作られた藤井拓郎(コナミ)の記録更新に期  
待がかかる。

また、同じ世界水泳選手権代表の伊藤健太  
(ミキハウス)、小堀勇氣(セントラルスポーツ)、  
外館祥(イトマン)などの世界経験者に加え、  
2月に山口県で行われたきららカップ2014で  
49秒04の好記録をマークした中村克(早稲  
田大学)や、今年大学生になる若手の丸山徹

(スウィン埼玉)、坂田怜央(イトマン近大)も  
昨年の夏に49秒台に突入り、自由形陣の層  
がかなり厚くなってきた。定期的なリレー合宿  
を行った成果が、徐々に実を結び始めている。  
彼らには、まだ誰も成しえていない48秒29  
の派遣標準記録の突破に期待だ。

女子は、ねんどの影響から昨年シーズンは  
精彩を欠いた内田美希(東洋大)が、日本  
選手権(25m)の50mを24秒31の短水  
路日本新記録を出して、「4月は派遣標準記  
録を切って、個人のレースに出場したい。上  
田さんの穴を私が埋められたら」と意気込む。  
引退した上田とともに女子自由形を長く引っ張  
ってきた松本弥生(ミキハウス)や山口美咲(イ  
トマン)と刺激し合い、さらに記録を伸ばして  
もらいたい。短距離ではないが、世界水泳選手  
権で200m自由形の高校記録を連発した  
五十嵐千尋(日本体育大)も好調だ。日本  
選手権(25m)では、400mで4分00秒  
50の短水路日本新記録を樹立し、波に乗っ



KATSUMI NAKAMURA  
KANAKO WATANABE



## 丸を掲げるのは誰だ?

ているひとり。世界から遅れているからこそ見ら  
れる、勝負よりも何よりも記録にこだわったレー  
スは見応え十分。

### 苦渋をなめた経験を生かせる ベテランの復調なるか

気がかりなのは、五輪メダリストたちの動向  
だ。松田丈志(セガサミー)、立石諒(ミキハ  
ウス)、入江陵介(イトマン東進)、鈴木聡美(ミ  
キハウス)、星奈津美(ミスノ)は、始動の遅  
さから昨シーズンは思うような結果を残せなかつ  
た。

特に平泳ぎは、男女ともに新勢力が目立つ  
活躍を見せている。100m平泳ぎで2013年  
日本ランキング1位となった小関也朱篤(ミキ  
ハウス)は、日本選手権(25m)で50m、  
100m、200mすべてで短水路日本新記録を  
樹立し、立石を脅かす。200mのレース後には  
「短水路でこの記録なら、長水路で2分08  
秒台も見えてくる」と、勢いが止まらない。女

子は渡部香生子(JSS立石)が、今大会直  
前の3月のオーストラリアで行われたNSWオ  
ープン選手権で、200m平泳ぎ2分22秒  
46を叩き出す。自らが持つ高校記録を更新し、  
安定感が増してきた。さらには茂木美桜(ルネ  
サンス幕張)や中学生の今井月(本巣SS)  
が記録を順調に伸ばしており、鈴木代表落  
ちという可能性も出てきた。

男子背泳ぎは、国内に入江の敵はいない、  
と思われているが、日本選手権(25m)の  
200m背泳ぎで日本新記録を出した金子雅紀  
(YURAS)や白井裕樹(ミスノ)の力は侮れ  
ないレベルにまで成長している。個人メドレー  
を主戦場としているが、今年は200mバタフライ  
でも代表入りを目指す瀬戸は、1月のBHP5  
カ国対抗戦でロンドン五輪メダリストのチャド・  
レクロー(南アフリカ)を破る快挙を成し遂げ、  
松田を脅かす。女子200mバタフライでは、  
昨年のインターハイで2分08秒97の日本ラ  
ンキング2位の記録をマークした藪美涼(セン

トラル浦安)が星越えを狙う。  
「中間年は若手の台頭が期待できる」。それは、  
ベテランの敗北を意味する。リオデジャネイロ  
五輪で、ロンドン五輪の借りを返したいベテラ  
ン勢にとっては、今年こそが本当の勝負の年  
なのである。

昨年がリオデジャネイロ五輪に向けた第一歩  
ならば、今年はその歩みをもう一段高い場所に  
向かって進むシーズンになる。このステップを  
来年のロシア カザンで行われる第16回世界  
水泳選手権につなげ、リオデジャネイロ五輪ま  
で駆け抜きたい。そのために世代交代という名  
の新陳代謝が行われるのか、それともベテラン  
が強さを見せつけるのか。いずれにせよ、若手  
新勢力対ベテランの構図は、必ずや熱い戦い  
を私たちに見せてくれるだろう。